

■三遊亭圓生(5代) 落語家。“デブの円生”といわれ高い人気、落語家として初めてアメリカで巡業し、寄席も経営。

さんゆうていえんしょう

秩父事件・1884＝ 下総国八街の宿屋{梅屋}に生まれる。父は入り婿でもとは芝承宕下の大工だったという。

帝国憲法発布1889＝ 5歳：

郡司千島探検1893＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝10歳：

八幡製鉄始・1897＝13歳：この頃、日本橋小網町の足袋屋に奉公したが、

教科書疑獄・1902＝18歳：奉公先を飛び出し、日比野雷風の内弟子となって剣舞の修業。

日露戦争終・1905＝21歳：ここも1,2年で飛び出して、地方をまわるうち、噺家の一座に加わったのが縁で、4代橘家円蔵の門に入り、二三蔵の名で前座となった。

伊藤博文暗殺1909＝25歳：小円蔵と改名して二つ目となるや、めきめきと頭角をあらわし、

大逆事件判決1911＝27歳：

明治天皇没・1912＝28歳：*三遊亭円窓とあらためて真打に昇進。

21ヶ条要求・1915＝31歳：*落語家ではじめてアメリカに渡り、

民本主義・1916＝32歳：帰国。

ロシア革命・1917＝33歳：東京演芸会社発足時には、師とともに会社派で活躍。

大暴落・1920＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝37歳：

水平社結成・1922＝38歳：師の死後ただちに五代橘家円蔵を襲名。

関東大震災・1923＝39歳：この前後数年の間、芝宇田川町の寄席・三光亭を経営したこともある。

治安維持法・1925＝41歳：*義理の息子に6代円蔵をゆずり、みずからは5代円生を襲名。

金融恐慌・1927＝43歳：この間演芸会社を脱退し、東西会、睦会、

初代柳家三語楼の落語協会に加入、

世界恐慌・1929＝45歳：

海軍軍縮条約1930＝46歳：睦会に復帰、

満州事変・1931＝47歳：

帝人疑獄事件1934＝50歳：同会会長となるが、まもなく東京落語協会に移籍した。

デブの円生とよばれ、豪放ななかに色気のある芸で、「首提灯」「文七元結」「因果塚」など江戸前の噺はもとより、「三十石」「二番煎」「らくだ」など上方ダネの噺も得意に演じ、

日中戦争始・1937＝53歳：

健保+総動員 1938＝54歳：

大政翼賛会・1940＝56歳：没した。

妻の連れ子が後に六代目を継いだ。